

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	北 條 悠 子	高校政治経済（実教出版）
必修 学校必修 必修選択 ○自由選択		最新図説政経（浜島書店） 入試対策問題集ステップアップ 政治・経済（第一学習社）

◆学習の目標

- ・民主主義の本質を理解し、広い視野から現代の政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身に付ける。
- ・政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察する。

◆主な学習内容・方法

- （１）教科書を熟読し、政治経済の基本的な事項を理解する。
- （２）現代の政治経済の課題について自ら考える。
- （３）大学入学共通テスト（センター試験）の過去問を解いて応用力や問題処理能力を高める。

◆到達目標と評価の観点

〔標準〕政治・経済についての興味・関心を高め、基礎的事項を理解させる。
 〔応用〕政治・経済の課題に関する思考力・表現力を高める。大学入学共通テスト受験者については「政治・経済」受験者及び「倫理」「政治・経済」受験者とも全国の平均点より15%を超える得点を目標とする。
 〔評価の観点〕政治・経済についての興味・関心を高め、様々な現象についての基本的知識を身に付けているか。思考力及び判断力を高めているか。

◆評価の方法

定期考査を中心に、知識・理解の向上を評価するとともに、提出物や通常の授業への取り組み、姿勢などにより総合的に評価する。学力テストにおいて、知識がどの程度定着しているかを測る。

◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1 学期（26時間）	2 学期（28時間）	3 学期（16時間）
------	------	------------	------------	------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・教科書を熟読する。とにかく教科書を繰り返して読むことが大切である。
- ・授業に集中し、用語を確実にマスターし、センター試験の問題などの復習を確実に行う。
- ・日ごろから新聞やニュースに触れ、時事問題についての関心を高める。
ネットニュースも含め複数の情報を比較し、主体的に評価・選択する。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元毎 の時数	学習の内容	注意すべきこと
1 学期	4	第1編 現代の国際政治 第5章	8	・国際連合 ・第二次大戦以降の国際政治体制	・国際政治の課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 ・国際分業の発達により、相互依存関係が深まっていることを説明できる。 ・労働、社会保障について多角的・多面的に考察し、様々な立場で公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。
	5	第2編 世界経済と日本 第4章	10	・外国為替と貿易 ・地域的経済統合 ・南北問題	
	6	第3章 労働 社会保障	8	・労働問題 ・社会保障の役割	
	7				
2 学期	8	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原理	4	・人権保障の発展 ・世界の政治体制	・民主政治の基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。 ・憲法の普遍性に気付き、人権が生まれながらの権利であること、他者の権利を尊重することを理解し、表現できる。 ・日本の政治制度に必要な改革は何か考えることができる。 ・経済活動の意義と経済思想の変容について経過を理解し、知識を身に付けている。 ・市場経済の意義と機能その限界など、現代経済の基礎的な知識や学び方を身に付けている。
	9	第2章 日本国憲法の基本的性格	5	・日本国憲法の成立 ・平和主義	
	10	第3章 日本の政治機構	5	・基本的人権の保障 ・三権分立	
		第4章 現代日本の政治	4	・地方自治 ・政党政治と選挙	
	11	第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容	5	・経済活動とは何か ・市場機構の機能と限界	
	12	第2章 現代経済のしくみ	5	・経済成長と景気変動 ・金融と財政	
3 学期	1	問題演習	16	大学入学共通テスト対策 問題演習	・現代の諸課題に関する知識や判断力を、過去問演習を通して身に付ける。
	2				
	3				